

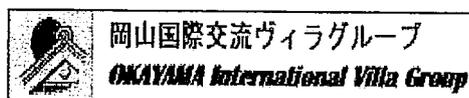
2025年度総会資料
特定非営利活動法人 岡山県国際団体協議会
Conference of Okayama International NGO Network (COINN)

実施日：2025年6月7日（土）13:00～17:00（総会）
実施場所：岡山国際交流センター6階 COINN 会議室



「多様性を尊重した多文化共生のまちづくり」シンポジウム

開催日：2024年1月28日（日） 場所：岡山国際交流センター2階国際会議場
参加者：海外6か国大使館、領事館（カナダ、ドイツ、ネパール、フィリピン、ベトナム、インドネシア）
岡山大学、岡山在住外国人代表、日本（岡山）の関係者



Conference of Okayama International NGO Network(COINN)

特定非営利活動法人 岡山県国際団体協議会

住所：岡山市北区奉還町2-2-1 岡山国際交流センター6階
TEL：086-256-2535 FAX：086-256-2576
URL：<http://www.coinn.org/> E-MAIL：office@coinn.org

2025 年度 NPO 法人岡山県国際団体協議会通常総会次第

○通常総会次第

総会日時：2025 年 6 月 7 日（土）13:00～17:00

総会場所：岡山市奉還町 2-2-1 岡山国際交流センター 6 階交流プラザ（当団体会議室）

（会場準備：12:00～12:30 受付：12:30～13:00）

○講演会 13:00～14:40

第一部：13:00～13:40

講 師：「岡山在住フィリピン人の為の生活指導従事経験者」柴垣アイリーン 氏

テーマ：一日本入国と岡山在住の為のフィリピン政府等との係わりについて

第二部：13:50～14:30

講 師：岡山大学非常勤講師 ルイス麻穂 氏（COINN スタッフ）

テーマ：「外国人市民と日本人（岡山）市民との共生を目指して」

○通常総会（14:40～16:40）

（1）開 会

（2）主催者挨拶

（3）審議事項

第一号議案	2024 年度活動実績	p 2
第二号議案	2024 年度活動計算書（総括表）	p 8
	2024 年度活動計算書（一般会計、特別会計）	p 9
	2024 年度貸借対照表	p 12
	2024 年度財産目録	p 13
	計算書類の注記	p 14
	監査報告書	p 15
第三号議案	2025 年度事業計画書	p 16
第四号議案	2025 年度収支予算書	p 23
第五号議案	役員について（事務局の今後）	p 29
	2024 年度末現在 COINN 会員名簿	p 30
	別紙関係 URL & 定款 URL	p 31

○懇親会

日時：17:00～19:00

場所：とりでい 西口店（岡山国際交流センター前）

第一号議案

2024年度事業実績

(特) 岡山県国際団体協議会 (COINN)

ユネスコNGO認定取得と多文化共生社会に向けて

(COINN 設立趣旨追加：下記下線部分)

- (1) 一地方といえども私たちは世界的な視野で世界的問題に対して立ち向かわなければ、将来の世代は存在しない。
- (2) 地域で開発したフィールドワークの経験（国際救援、技術支援、自立支援、人材の育成等）を、広く社会に周知し共有する。
- (3) 私達は相互に連携して強力な組織を構築し、お互いの団体の足腰を強化して協働する。
- (4) 当協議会は岡山県における国際活動NGOの連携ネットワークのハブ（仲介者）となる。
- (5) 互いの個性や違いを尊重しながら、繋がり、助け合う地球市民社会をさらに成熟させる。
- (6) 各NGO団体の組織基盤の強化を図る。
- (7) 世界の人々と「顔の見える関係」を構築し協力し合う真の地球市民社会を構築する。
- (8) 「多文化共生のまちづくり」の為の相互協力を行いより平和な世界が来るよう努力しよう。

(定款の変更後)

(1) 当会の目的（定款第3条）

3条（目的）

本法人は、国際NGO及びNPO間の連携を深め、関係機関及び県民と外国人との協力のもとに、国際理解・国際交流・国際体験・国際協力・国際支援・国際貢献活動・多文化共生活動等（以下「国際活動」という。）の推進を図り、もって国際社会に貢献することを目的とする。

(2) 活動の種類（定款第4条）

4条（特定非営利活動の種類）

本法人は、前条の目的を達成するため、特定非営利活動促進法（以下、「法」という。第2条別表第三号まちづくりの推進を図る活動、第十一号（国際協力の活動）及び第十九号（前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動）の活動を行う。

3. 事業実績（定款第5条）

(事務局からのお詫び)

これまで10年間以上継続して民間人から頂いていた寄付（260万円/年）が2024年度から中止になりました。

又、同時に、毎年、得ていました助成金を当事務局の不注意で、2024年度用として獲得する可能性がありました助成金（300万円）のインターネット申請の送付期限に2分遅れました。このことにつきましては、今後再び起きないように注意すると共に、伏してお詫び申し上げます。このため、2024年度事業収入は、印刷機購入の為の補助金（100,000円）、国際交流ヴィラの宿泊手数料（380,800円）、会費収入（160,000円）以外は全くありませんでした。

第1項：会員間の連携・協働を促進する事業

1. 主要事業

- (1) 「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」事業（2021年度～2023年度）の今後の対応の研究まとめ
24別紙1：2021年度～2023年度研究報告書
- (2) ユネスコ国際機関誘致のための作業業務計画書の考察（継続）
24別紙2：ユネスコ国際機関（カテゴリーII）岡山エリア誘致説明資料
- (3) COINNのユネスコNGO認証申請の再検討
24別紙3：COINN国際活動経過状況

2. 定例事業

- (1) 地元商店街行事の国際活動再検討会議への調整
- (2) 岡山市SDGs・ESD推進課が行う事業への参加
2014年度会議からNPO法人岡山県国際団体協議会の事務局長（後に理事長）が委員として就任、同会議に現在まで参加
日時：令和6年4月26日（金）15：00～16：30
場所：岡山市勤労者福祉センター4階大会議室
- (3) 国際会議・国際協力：
 - ①ネパール等の青年の地域定住促進（CLC地域おこし）研究
24別紙4：パワーポイント（和文）最新NPO法人岡山県国際団体協議会事業紹介（COINN）
 - ②COINNが招聘した南アジア・東南アジア文部科学省政府職員とのオンラインWeb会議の検討
参加国：10か国（ネパール、ベトナム、インドネシア、フィリピン、タイ、バングラデシュ、ラオス、カンボジア、マレーシア、日本）の政府関係職員等との共催
テーマ：地域開発と青年—日本の協力体制はどうあるべきか—
日程：2025年12月中旬☞再検討
 - ③「多様性を尊重した多文化共生のまちづくり」の継続事業検討
今後の「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」の事業の次ステップ
内容：「多様性を尊重した多文化共生のまちづくり」の次段階の2025年度「プラットフォームづくり」検討（2024年1月28日（日）実施シンポジウムを参考）
24別紙5：研究実施計画書2025年度～2027年度

第2項：各種国際活動の推進を図る事業

1. SDGs・ESD活動団体交流会

岡山市が開催するESD市民フォーラム・交流会事業等の事業☞参加

2. 岡山市のSDGsフォーラム

2024年11月23日（木・祝）岡山国際交流センター☞参加

3. 岡山市のユネスコ/日本ESD賞賞金による若者向け助成事業の広報の実施

☞参加

若者が海外に向けて学習する機会を与える事業

- ・グローバルな視野を持って岡山地域の持続可能な社会づくりに向けた取組にチャレンジする若者を対象に、研修経費を助成する事業に参加広報

4. SDGs ネットワーク事業提案（異文化理解事業継続）☞広報 継続

2019年度に行った異文化理解事業の参加者（20か国以上）の方々に夫々の各国SDGsの活動を紹介する事業の提案広報

24別紙6：「ミニSDGs国際活動 in Okayama 2025 への準備」

参加国：ベトナム、ネパール、インドネシア、フィリピン、トルコ、ブラジル、アメリカ、フランス、ニュージーランド、韓国、イタリア、オーストラリア、中国、マレーシア、スウェーデン、スイス、オーストリア、イギリス、カナダ、ジャマイカ、コロンビア、バングラデシュ、日本

形式：オンライン Web 会議形式

理事会の理事として在住外国人コミュニティの代表を就任して頂いているのでオンライン会議を理事会を兼ねて実施。

第3項：国際活動に関する内外の情報収集と提供事業

1. ニュースレターの発行☞ホームページに移行（メールで検討継続）

在留外国人やアルバイト学生を3数団体に派遣します。特に、留学生や技能実習生の在留外国人の実情を掲載する方向で検討している。

2. 岡山発国際貢献推進協議会（岡山県国際課に事務局）主催行事への参加

総会・活動事例発表会に参加☞2024年8月2日参加

3. JICA関西主催

開催イベントの内容を広報

（例）JICA 関西 企業向けメールマガジン 編集・発行：JICA 関西企業連携課

本メールマガジンでは、主に関西地域の企業の皆様の海外ビジネス展開に役立つ情報を毎月2～3回提供

第4項：会員間の情報交換、情報発信等の支援事業（部会長と調整予定）

1. COINN 加入メリット増強策

COINN 会員団体向けの出張ボランティア⇒特に在留外国人を派遣します。☞継続

2. 組織変更に関する課題協議☞継続

a) COINN の基本構想に沿った内容を検討します。

- ・新部会の立上（参加者で部会内容を検討する）

例) 各国文化紹介部会、各国人材紹介部会、民間外国人ハローワーク設立部会、CLC地域開発協働協力部会、多文化共生社会構築部会

- ・関係国

ベトナム、ネパール、インドネシア、フィリピン、トルコ、ブラジル、アメリカ、フランス、ニュージーランド、韓国、イタリア、オーストラリア、中国、マレ

ーシア、スウェーデン、スイス、オーストリア、イギリスカナダ、ジャマイカ、
コロンビア、バングラデシュ、日本

第5項：会員と他分野の民間団体、並びに行政機関、国際機関、企業・経済団体、教育機関
等との連携を促進する事業☞継続

①ユネスコ・パリ本部とNGO認証獲得のための交渉（オンラインWeb会議開催）☞継続
文部省関係者と調整

②岡山大学等教育委機関との連携☞継続

COINNがユネスコ・パリ本部からユネスコNGO認証を取得可能となるようユネスコ・
チェアを獲得している岡山大学学長に面会し協議する。事前に横井篤文副学長（特命（海
外戦略）担当）に面会を行う。

③南アジア・東南アジアのユネスコ認証NGO団体との連携事業☞継続

- a) 特定の団体を選択し、事業内容を調査し、協働可能なものを選択し検討する。
- b) 特定のユネスコ認証NGOとオンラインWeb会議開催の検討を行う。

④岡山県等との協働事業提案

- a) 国際貢献月間に向けた2024年10月資料の会員への広報実施（広報実施）
24別紙7：多文化共生まちづくりイベント
24別紙8：「プラットフォームづくり」案

⑤一般財団法人岡山県国際交流協会（OPIEF）主催事業への参加（継続）

- a) 令和6年度国際貢献NGOフェアへの出展への個別参加
実施時期：2024年10月1日～2024年10月31日
- b) 令和6年度国際理解学習プラン講師派遣事業への個別参加
関係者へ広報実施
- c) 令和6年度国際理解・協力活動等助成金事業への個別参加
関係者へ広報実施
- d) 令和6年度国際貢献・協力セミナーの共催の個別参加
関係者へ広報実施
- e) 令和6年度COINN活動支援助成事業申請（10万円リソグラフ）
「特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会活動支援助成事業申請」
- f) 令和6年度岡山国際交流センター防火対策協議会参加会議に参加

⑥岡山NPOセンター関係事業

- a) 人口減少社会を超える～地域の連携で描くSDGsの未来
日時：2025年3月14日（金）14:00～16:30（150分）
場所：人権ライブラリー多目的スペース（港区芝大門2-10-12 KDX 芝大門ビル4F）
※オンライン（Zoom）あり
参集者：行政、企業、行政・企業と協働でSDGs推進をしたい市民活動団体など

b) ESDカフェ×SDGsシリーズ

- 日時：令和7年2月18日（火）18時30分～20時
- 会場：Wonderwall（岡山市北区駅前町1-8-18 イコットニコット2階）またはオン
ライン
- 内容：「ミンダナオ子ども図書館」の取組について

⑦助成財団への申請調査

- a) 申請組織立上げ（申請作成の報償制度、COINN 内部コンサルタント制度）（継続）
- b) 検討先（継続）
文部科学省：ユネスコ未来共創プラットフォーム事業
「海外展開を行う草の根のユネスコ活動（再委託）」 企画書（再再申請）☞過去数回採択
- c) 外務省インターンシップへの申請（継続）
- d) 「世界の人びとのための J I C A 基金」への申請（継続）
CLC（コミュニティー・学習・センター：日本の公民館に相当）の「人づくり」「組織づくり」「地域づくり」の一事業提案（上記 b の申請内容例と同じ）

⑧ E S D 学会への加入と事業への参加☞継続

総会と事業に参加

⑨ユネスコ誘致基金（仮称）の検討☞継続

⑩平和活動への参加

ユネスコ・パリ本部関係者へ送付「ユネスコ憲章による戦争中止要望」

別紙 8 : Request to stop Russian war from UNESCO Charter

⇒ユネスコ関係者に通知のみ

第 6 項：研修・講演会等の開催事業

①ファンドレイジングの方法研究（認定ファンドレイザー研修）☞継続検討

講師：日本ファンドレイジング協会 代表理事 鶴尾 雅隆 氏

日時（予定）：2024 年 9 月頃（オンライン W e b 授業）

内容：ファンドレイジングの範囲は、単なる広報スキルに留まらず、組織の成長・発展戦略の検討をする能力や個人的なプレゼンテーション力。

②民間ハローワーク（外国人向け）設置の方法の検討について☞継続

a) 岡山労働局 〒700-8611 岡山市北区下石井 1-4-1 岡山第 2 合同庁舎

③MSC の概略・目的・特徴・事例紹介の講義☞継続検討

（注）MSC（モスト・シグニフィカント・チェンジ）は、欧米の NGO が使っている参加型・質的評価手法（オンライン W e b 授業）

・演習：「最も重大な変化を選ぶ」ステップの体験

・まとめと振り返り

・講師：一般社団法人参加型評価センター代表理事 田中 博 氏

④ N P O センター開催の研修会への参加 継続

⑤外務省・ J I C A 共同説明会への参加 継続

⑥岡山大学副学長 横井篤文 氏 講演への参加 継続

第 7 項：その他、当協議会の目的達成のために必要な事業

①会員向けサービスの提供

a) 会議室の調整：交流プラザ（9：00～21：00）

24 別紙 9：「2024 年度交流プラザ利用状況」

県民、市民への利用促進、会員へ利用広報、

- b) 会員私書箱のメールボックスの利用調整（郵便物配付含む）
- c) 各団体の情報提供（COINNホームページ掲載）
- d) 事務局の運営（会員入会登録管理事務、理事会、部会、総会、法務局届出、受付文書受理業務）

②COINN 活動収益事業の実施

- a) 八塔寺国際交流ヴィラ、八塔寺山荘の受付事務
24 別紙 10：2024 年度国際交流ヴィラ予約状況
- b) 再オープン国際交流ヴィラへの協力・調整

4. 管理運営業務

(1) 会議等の開催

- ①総会
 年 1 回
- ②理事会開催（オンライン Web 会議の実施）
 2 カ月～3 カ月毎に 1 回
- ③COINN 理事連絡会メール
 随時
- ④COINN 会員交流会

- (2) ヴィラ委託事務（八塔寺国際交流ヴィラ、八塔寺山荘：宿泊者の世界からの受付業務）
- (3) 入会受付審査 (4) 会員登録事務
- (5) 会員メール情報提供事務
- (6) イベント実施結果の情報授受とホームページ掲載
- (7) メールボックス設置とメールの配布（1 階→6 階）
- (8) 会員管理事務（会員名簿作成事務）
- (9) 会員間の情報伝達事務
- (10) 関係機関通知文等処理

（懸案事項）特に、岡山市から NPO 法に基づく決算方式に修正してもらいたい希望が出ている。2022 年度から一部対応したがさらに改良していく。

(11) 岡山国際交流センター管理者への協力

- ①センター建物利用者連絡会議
- ②消防訓練

(12) スタッフ&アルバイトの採用（広報）

スタッフ：ルイス・麻穂（常時対応）、片山佳代子（臨時対応）
 アルバイト：採用はしていない
 （Timee の利用はなし）

(13) その他（起案・決裁）

国際協力の活動及び当会の目的の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助活動を行う。

第二号議案

収支計算書(総括表)

2024年4月1日から2025年3月31日まで (単位:円)

		OPIEF 委託 事業	ユネスコ 誘致事業	国際交 流グイ 委託事 業	橋本財団 成事業(世 界から選 ばれる都 市”岡山 ”を指 して)	多文化 共生事 業 (特別 会 計)	国際会議・国 際協力(ア ジ ア青年未 来 プロ ジェ ク ト) 事業(文 部 科 学 省 助 成 事 業)	
(収入の部)								
1 会費収入	160,000							160,000
前年度繰越	0							0
2 寄付金収入								0
3 助成金収入		100,000						100,000
4 委託金収入				380,800				380,800
前年度繰越								0
5 負担金収入								0
6 立替収入								0
7 戻し	0							0
8 受取利息	19							19
9 他会計より繰入	317,981	53,159	0	0	0	0	0	371,140
当期収入合計	478,000	153,159	0	380,800	0	0	0	1,011,959
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0
収入の部合計	478,000	153,159	0	380,800	0	0	0	1,011,959
(支出の部)								
1 事業費	6,400	153,159	0	9,660	0	0	0	169,219
2 管理費	684,136	0	0	0	0	0	0	684,136
3 備品費	0	0	0	0	0	0	0	0
4 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
5 返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
6 他会計へ繰出	0	0	0	371,140	0	0	0	371,140
当期支出合計	690,536	153,159	0	380,800	0	0	0	1,224,495
当期収支差額	212,536	0	0	0	0	0	0	-212,536
次期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 年会費を郵便振込すると現金化する場合手数料(110円)を取られるため年会費は端数があります。

(注) 一般会計支出の部の管理費は、細項目(事務所費から雑費まで14項目)と電話代&インターネット代を合算しています。

(注) 立替収入は補助金等事業終了でないと入らない収入(借入で立替)

(注) 返還金は、立替収入や不足額を支出した金額を示しています。

収支計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(1) 一般会計

(単位：円)

科 目	金	額	
I 収入の部			
総会成立過半数21名以上		160,000	
2024年度			
既存会員会費			
現金会員 5,000×20	100,000		
10,000×6	60,000		
2. 寄付金収入	0	0	
3. 助成金		0	
各事業ごとに提示	0		
4. 立替収入(借入金)			
立替収入(借入金)			
5. 受取利息		19	
受取利息	19		
6. 他会計より繰入		317,981	
他会計より繰入	317,981		
当期収入合計(A)		478,000	
前期繰越収支差額	0	0	
収入合計(B)			478,000
II 支出の部			
1. 事業費		6,400	
会員間連携協働事業(別紙計上)	6,400		
国際活動推進事業	0		
情報収集提供事業	0		
情報交換発信支援事業	0		
関係機関連携事業	0		
研修事業	0		
2. 管理費		684,136	
事務所費	342,239		
会議費	780		
研修費	40,200		
旅費交通費	1,970		
人件費	40,206		
福利厚生費	0		
通信運搬費			
一般	8,394		
電話・インターネット関係	155,362		
消耗品費	6,860		
新聞図書費	47,980		
印刷製本費	0		
減価償却費	20,000		
租税公課	800		
諸会費	10,000		
雑費	9,345		
3. 備品費		0	
備品費	0		
4. その他		0	
借入返金			
その他	0		
5. 他会計へ繰出		0	
他会計へ繰出	0		
当期支出合計(C)			690,536
当期収支差額(A)－(C)			-212,536
次期繰越収支差額(B)－(C)			-212,536

(2) 特別会計 (OPIEF 委託事業)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 収入の部			
1. 助成金収入	100,000	100,000	
2. 他会計より繰入	53,159	53,159	
当期収入合計 (A)		153,159	
前期繰越収支差額		0	
収入合計 (B)			153,159
II 支出の部			
1. 事業費		153,159	
消耗品費	3,990		
リース料	101,926		
印刷製本費	47,243		
備品	0		
振込手数料	0		
当期支出合計 (C)			153,159
当期収支差額 (A) — (C)			0
次期繰越収支差額 (B) — (C)			0

(3) 特別会計（国際交流ヴィラ委託事業）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 収入の部			
1. 委託金収入		380,800	
(1) 白石ヴィラ(白石・島づくり委員会)			
年間基礎委託料	0		
受付手数料	0		
(2) 八塔寺ヴィラ(備前市役所)			
受付手数料	323,300		
(3) 八塔寺山荘(備前市役所)			
受付手数料	57,500		
当期収入合計 (A)		380,800	
前期繰越収支差額			
収入合計 (B)			380,800
II 支出の部			
1. 事業費		9,660	
(1) 人件費			
報酬	0		
(2) 事務費			
旅費交通費	9,220		
雑費	440		
2. 他会計へ繰出	371,140	371,140	
当期支出合計 (C)			380,800
当期収支差額 (A) - (C)			0
次期繰越収支差額 (B) - (C)			0

貸借対照表

令和 7年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
前払金	0	
仮払金	0	
流動資産合計		0
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	20,000	
有形固定資産計	20,000	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		20,000
資産合計		20,000
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
長期借入金	921,916	
固定負債合計		921,916
負債合計		921,916
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		△ 689,380
当期正味財産増減額		△ 212,536
正味財産合計		△ 901,916
負債及び正味財産合計		20,000

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) ボランテニアによる役務の提供

ボランテニアによる役務の提供は、「3. 活動の原価の算定にあたって必要なボランテニアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	OFIEP	エネスロ	国際交流 ダイラ	橋本財団	多文化共生	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費						0	160,000	160,000
2. 受取寄付金						0	0	0
3. 受取助成金等	100,000					100,000		100,000
4. 事業収益			380,800			380,800		380,800
5. その他収益						0	19	19
経常収益計	100,000	0	380,800	0	0	480,800	160,019	640,819
II 経常費用								
(1) 人件費								
給料手当						0		0
臨時雇賃金						0	40,206	40,206
法定福利費						0	0	0
通勤費						0	0	0
福利厚生費						0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	40,206	40,206
(2) その他経費								
印刷製本費	47,243					47,243		47,243
会費						0	780	780
旅費交通費			9,220			9,220	8,370	17,590
通信運搬費						0	163,756	163,756
備品消耗品費	3,990					3,990	6,860	10,850
水道光熱費						0	42,000	42,000
修繕費						0	0	0
賃借料	101,926					101,926	300,239	402,165
減価償却費						0	20,000	20,000
諸会費						0	10,000	10,000
租税公課						0	800	800
研修費						0	40,200	40,200
新聞図書費						0	47,980	47,980
支払手数料						0	0	0
雑費			440			440	9,345	9,785
その他経費計	153,159	0	9,660	0	0	162,819	650,230	813,149
経常費用計	153,159	0	9,660	0	0	162,819	690,536	853,355
当期経常増減額	-53,159	0	371,140	0	0	317,981	-530,517	-212,536

3. 活動の原価の算定にあたって必要なボランテニアによる役務の提供の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
事務局長 橋本徹夫 288日間	1,979,712	時給は岡山県の最低賃金(令和6年10月2日～)により算定しています。 282円 時間×時間 日×6日 週×48週間 年 異支給額0円除く

4. 貸借等が制約された寄附金等の内訳

貸借等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
橋本財団 福祉助成金	0	0	0	0	橋本財団事業の助成金
合計					

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 什器備品	40,000	0	0	40,000	20,000	20,000
合計	40,000	0	0	40,000	20,000	20,000

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	729,380	424,809	232,273	921,916
合計	729,380	424,809	232,273	921,916

財 産 目 録

令和 7 年 3 月 31 日 現在

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0		
預金			
中国銀行/普通預金	0		
トマト銀行/普通預金	0		
前払金	0		
仮払金	0		
流動資産合計		0	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	20,000		
有形固定資産計	20,000		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		20,000	
資産合計			20,000
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	921,916		
固定負債合計		921,916	
負債合計			921,916
正味財産			△ 901,916

監 査 報 告 書

2025年6月3日

特定非営利活動法人
岡山県国際団体協議会
理事長 橋本徹決 殿

特定非営利活動法人
岡山県国際団体協議会

監事

桔梗博充

監事

玄古真祥

2024年4月1日から2025年3月31日までの、2024年度における業務及び会計の監査を行いました。その結果を次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

- (1) 業務監査について、関係書類を閲覧し業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類を閲覧し、決算書類の適正を検討した。

2. 監査意見

- (1) 業務執行について問題となる事項はなかった。
- (2) 決算書類は、諸帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財政状態を適正に表示していると認める。

前事業年度の年間役員名簿

【2024年(令和6)年4月1日から2025年(令和7年)年3月31日】

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会

No	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬	備考
1	理事長	橋本 徹決		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事長継続
2	副理事長	UDDIN MD. AZHAR		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	副理事長継続
3	副理事長	北村 優子		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	副理事長継続
4	理事	岡本 俊則		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
5	理事	谷本 基		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
6	理事	片山 哲也		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
7	理事	坪井喜久太		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
8	理事	有竹 正寿		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
9	理事	近 英生		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
10	理事	塚元 和良		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
11	理事	川口 芳子		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
12	理事	ZORLU ÖMER FARUK		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
13	理事	OYAMA (大山) MARJORIE BULACLAC		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
14	理事	ACHARYA PREM PRASAD		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
15	理事	MUHAMAD KURNIANTO		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
16	理事	TRAN NGOC NAM		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	理事継続
1	監事	玄古 真祥		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	監事継続
2	監事	桔梗 博充		2024年4月1日～2025年3月31日	無し	監事継続